



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月13日

上場会社名 ダイヤ通商株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7462 URL http://www.daiya-tsusho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 阿部 匡 (TEL) 03-5804-5081  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,482	△1.6	△28	—	△25	—	△27	—
25年3月期第1四半期	1,506	14.0	35	19.9	26	0.3	22	8.1

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.62	—
25年3月期第1四半期	3.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,924	987	33.8
25年3月期	3,033	1,013	33.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 987百万円 25年3月期 1,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,823	△6.0	5	△89.0	△2	—	△2	—	△0.35
通期	6,027	△5.5	16	37.6	1	—	1	—	0.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	8,222,000株	25年3月期	8,222,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	658,390株	25年3月期	641,390株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	7,574,676株	25年3月期1Q	7,533,306株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社の主力事業が属する石油業界の第1四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)は、円安の進行を受け、原油調達価格が上昇しました。国内の石油製品需要は、揮発油、軽油等についてはほぼ前年並みとなり、電力用重油の需要が節電効果などの影響で減少し、全体では前年に比べて減少しました。

このような状況の中、当社の第1四半期累計期間の売上高は14億82百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業損失は28百万円(前年同四半期、営業利益35百万円)、経常損失は25百万円(前年同四半期、経常利益26百万円)、四半期純損失は27百万円(前年同四半期、四半期純利益22百万円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

当社石油事業のサービスステーション部門におきましては、油外商品の強化というテーマをより具体的なメニューに落とし込み、確実な利益確保に努めております。「レンタカー」事業は、車両入れ換えと増車を行い、売上も順調に推移しております。「車検」は、提案型の要素を強めたお見積りにより客単価の向上を図り、収益増に努めております。「洗車」は、コーティングを含めた専門店化をより強化し、収益アップを図っております。また、新たな油外強化策の一つとして「タイヤ」に注力しており、商品の拡販と同時に作業収益増に努めております。原油価格の下落等によりガソリンの店頭価格が4月第2週より8週連続の下落となったものの、それを上回る油外収益等で吸収し売上高は計画を上回る結果となりました。しかし、市況の悪化を反映し営業利益は計画を下回りました。

直需・卸部門におきましては、為替の円安や中東における地政学リスク等の影響で原油価格の不安定な動きが続きました。需要家のコスト意識、消費者の環境・節約志向の中、新規開拓、既存客シェアアップに注力した結果、売上高は前年実績及び今期計画を上回りました。今後は口銭の確保、販売管理費の抑制により、営業利益の達成を目指して参ります。

これらの結果、石油事業におきましては、売上高13億15百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益10百万円(前年同四半期比81.2%減)となりました。

専門店事業であるサイクルショップ「コギー」におきましては、特価商材の導入や欠品防止対策を強化したことにより、売上高は前年実績を上回りました。一方、作業収益の確保に注力した他、値入率の高い商品の導入、販売を積極的に進めて参りました。

これらの結果、専門店事業におきましては、売上高1億56百万円(前年同四半期比10.7%増)、営業利益3百万円(前年同四半期比66.2%増)となりました。

不動産事業におきましては、現在、空室のテナント誘致活動中のため、売上高11百万円(前年同四半期比75.9%減)、営業損失2百万円(前年同四半期、営業利益29百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、29億24百万円(前事業年度末比1億9百万円減)、純資産は9億87百万円(前事業年度末比26百万円減)となりました。

資産のうち流動資産は9億92百万円(前事業年度末比1億22百万円減)、固定資産は19億31百万円(前事業年度末比13百万円増)となりました。これらの増減の主なものは、現金及び預金の1億4百万円の減少、受取手形及び売掛金の45百万円の減少、前渡金の22百万円の増加、建設仮勘定の5百万円の増加によるものであります。

負債につきましては19億36百万円(前事業年度末比 83百万円減)となりました。流動負債は10億18百万円(前事業年度末比 60百万円減)、固定負債は9億18百万円(前事業年度末比 22百万円減)となりました。これらの増減の主なものは、買掛金の74百万円の減少、短期借入金の24百万円の増加、長期借入金の26百万円の減少によるものであります。

純資産につきましては、四半期純損失を計上したことにより、9億87百万円(前事業年度末比 26百万円減)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は計画通りに推移しておりますが、営業利益、経常利益に関しては、不動産事業におけるテナント誘致活動や耐震診断設計など不透明な状況に備え、業績予想については据え置くことといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	258,944	154,316
受取手形及び売掛金	548,313	503,184
商品	278,849	280,069
その他	37,307	61,197
貸倒引当金	△8,658	△6,206
流動資産合計	1,114,757	992,561
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,278,551	1,278,551
その他(純額)	333,787	342,515
有形固定資産合計	1,612,338	1,621,066
無形固定資産	1,004	1,004
投資その他の資産		
差入保証金	280,513	285,757
その他	73,057	72,124
貸倒引当金	△48,407	△48,407
投資その他の資産合計	305,162	309,474
固定資産合計	1,918,506	1,931,545
資産合計	3,033,263	2,924,107
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,498	318,694
短期借入金	433,818	458,502
1年内返済予定の長期借入金	100,913	103,515
未払法人税等	9,689	2,345
その他	141,165	135,344
流動負債合計	1,079,085	1,018,403
固定負債		
長期借入金	524,172	497,954
長期預り保証金	76,644	82,805
再評価に係る繰延税金負債	294,660	294,660
退職給付引当金	20,235	20,235
その他	24,721	22,459
固定負債合計	940,434	918,115
負債合計	2,019,519	1,936,519

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	568,321	568,321
利益剰余金	△42,026	△69,440
自己株式	△48,989	△47,731
株主資本合計	567,305	541,149
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	446,438	446,438
評価・換算差額等合計	446,438	446,438
純資産合計	1,013,743	987,587
負債純資産合計	3,033,263	2,924,107

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,506,769	1,482,886
売上原価	1,196,996	1,248,681
売上総利益	309,773	234,204
販売費及び一般管理費	274,715	262,350
営業利益又は営業損失(△)	35,058	△28,145
営業外収益		
受取利息	328	484
受取配当金	170	174
仕入割引	413	237
神奈川県臨時特例企業税還付金	—	7,223
その他	198	286
営業外収益合計	1,111	8,405
営業外費用		
支払利息	4,867	4,495
その他	5,179	1,146
営業外費用合計	10,047	5,641
経常利益又は経常損失(△)	26,122	△25,381
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2,130	—
特別利益合計	2,130	—
特別損失		
訴訟関連費用	2,200	—
店舗閉鎖損失	—	32
特別損失合計	2,200	32
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	26,052	△25,413
法人税、住民税及び事業税	3,291	2,000
法人税等合計	3,291	2,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,761	△27,413



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	専門店事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,319,490	140,955	46,323	1,506,769	—	1,506,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,319,490	140,955	46,323	1,506,769	—	1,506,769
セグメント利益	55,794	1,966	29,692	87,453	△52,395	35,058

(注) 1 セグメント利益の調整額△52,395千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,395千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	専門店事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,315,662	156,067	11,156	1,482,886	—	1,482,886
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,315,662	156,067	11,156	1,482,886	—	1,482,886
セグメント利益	10,463	3,268	△2,057	11,675	△39,820	△28,145

(注) 1 セグメント利益の調整額△39,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△39,820千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。